

DB年金の平成20年度(H21.3末) 決算の積立状況等

対照先	DB年金	厚生基金	適格年金	退職金	その他
内容	法令通知	財政運営	資産運用	会計基準	その他

※ご参考に厚生基金のお客様にも送付させていただきます。

ポイント

弊社総幹事先DB年金のうち、平成21年3月末に決算を迎えた247件について、積立水準等の集計を行いましたのでご案内致します。

1. 継続基準の積立水準※ 平均1.02へ低下(前年度平均1.23) 63%(前年度10%)のDB年金が継続基準に抵触しました。

※(数理上資産額+許容繰越不足金)÷責任準備金

2. 非継続基準の積立水準 平均0.85へ低下(前年度平均1.25) 51%(前年度32%)のDB年金が非継続基準に抵触しました。

【当年度集計の概要】

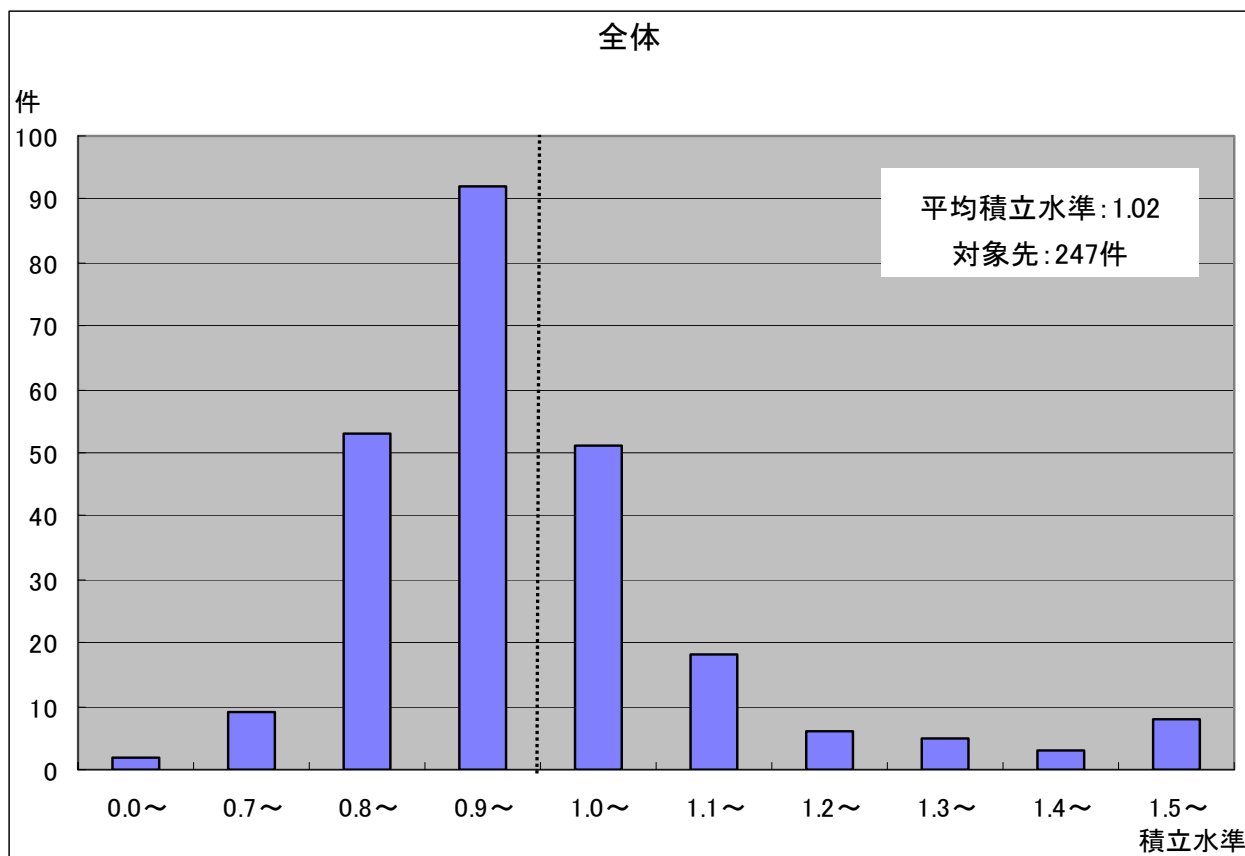
- ・2年連続の運用低下により全体の積立状況が低下
- ・財政の緩和措置(下方回廊方式の導入)により継続基準に抵触した場合でも掛金の引き上げ幅の圧縮が可能に(21年3月期決算以降)(掛金の上昇幅:1.37⇒1.20に軽減)

✓ 全DB年金の分布とは傾向が異なり得る点についてご留意下さい。

今回ご案内のデータ(次頁以降)

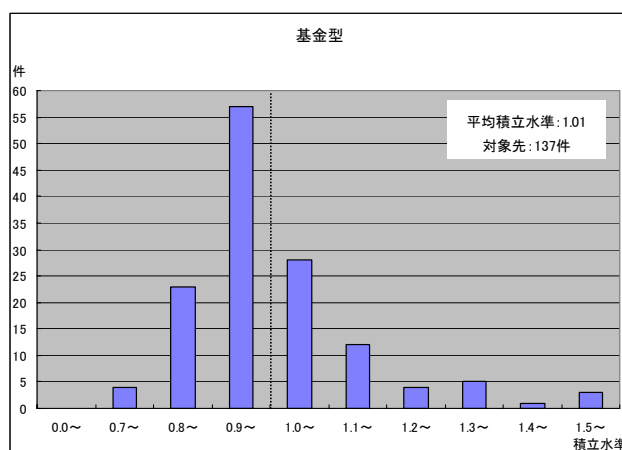
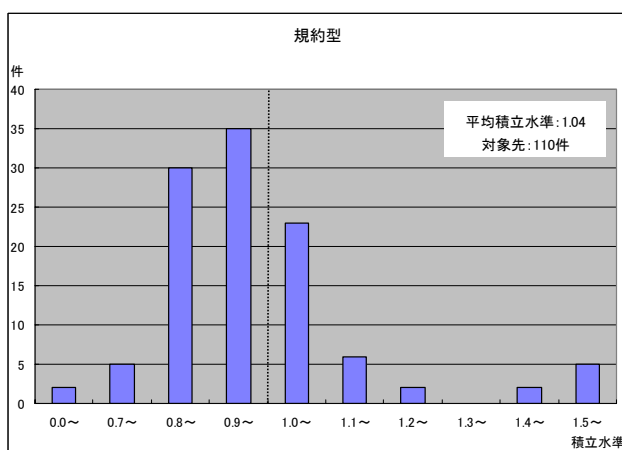
- ・ 継続基準の積立水準分布(①) ……2 / 6頁
- ・ 財政の緩和措置(下方回廊方式)の影響(②) ……3 / 6頁
- ・ 非継続基準の積立水準分布(③) ……4 / 6頁
- ・ 数理上資産額/責任準備金額(④) ……5 / 6頁
- ・ 継続基準の予定利率(⑤) ……5 / 6頁
- ・ 非継続基準の予定利率(⑥) ……6 / 6頁
- ・ 積立水準状況分布表(⑦) ……6 / 6頁
- ・ 許容繰越不足金の定義(⑧) ……6 / 6頁
- ・ 資産評価方法(⑨) ……6 / 6頁

① 継続基準の積立水準分布

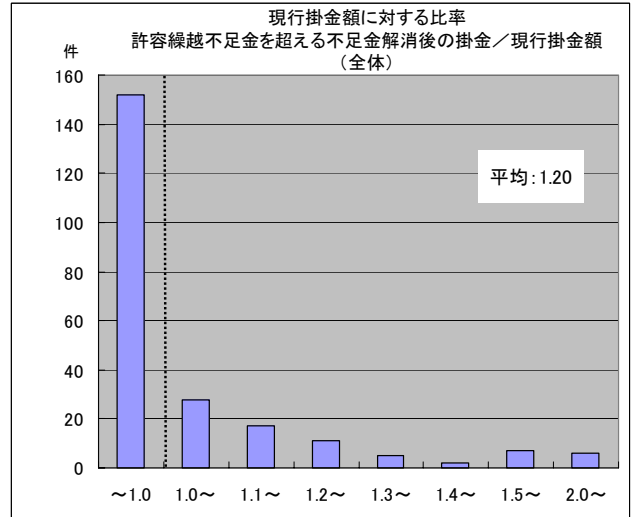
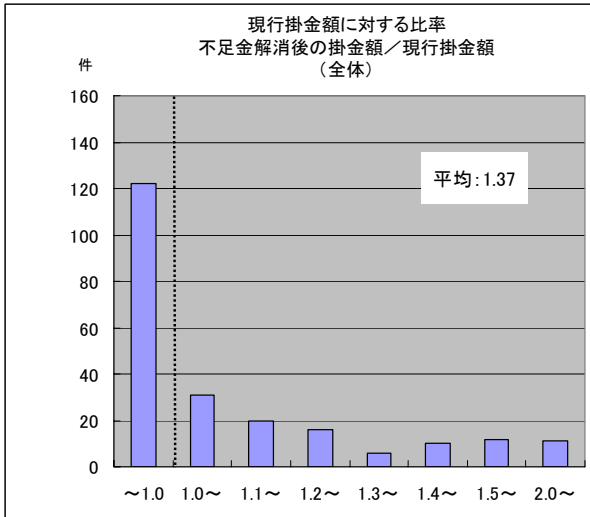


継続基準の積立水準 = (数理上資産額 + 許容繰越不足金) ÷ 責任準備金

・1.0未満の場合は責任準備金確保のための変更計算の実施が必要



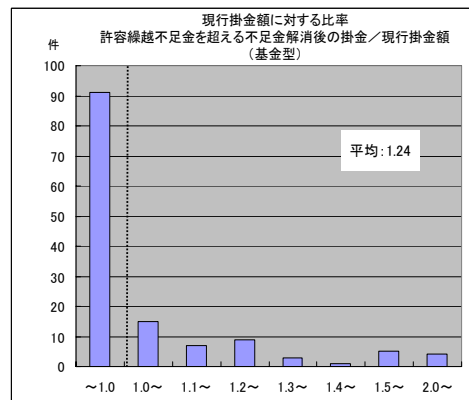
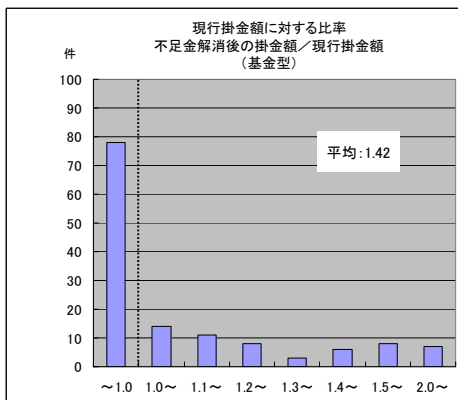
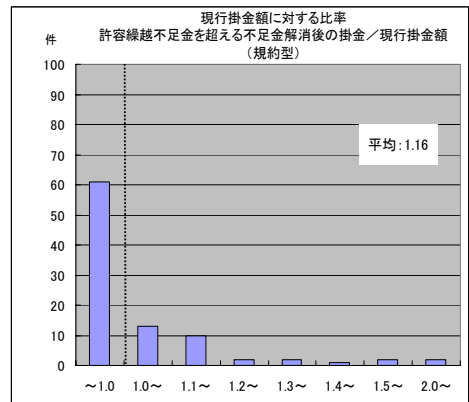
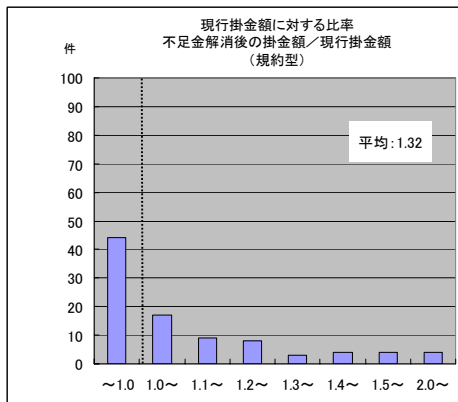
②財政緩和措置(下方回廊方式)の影響



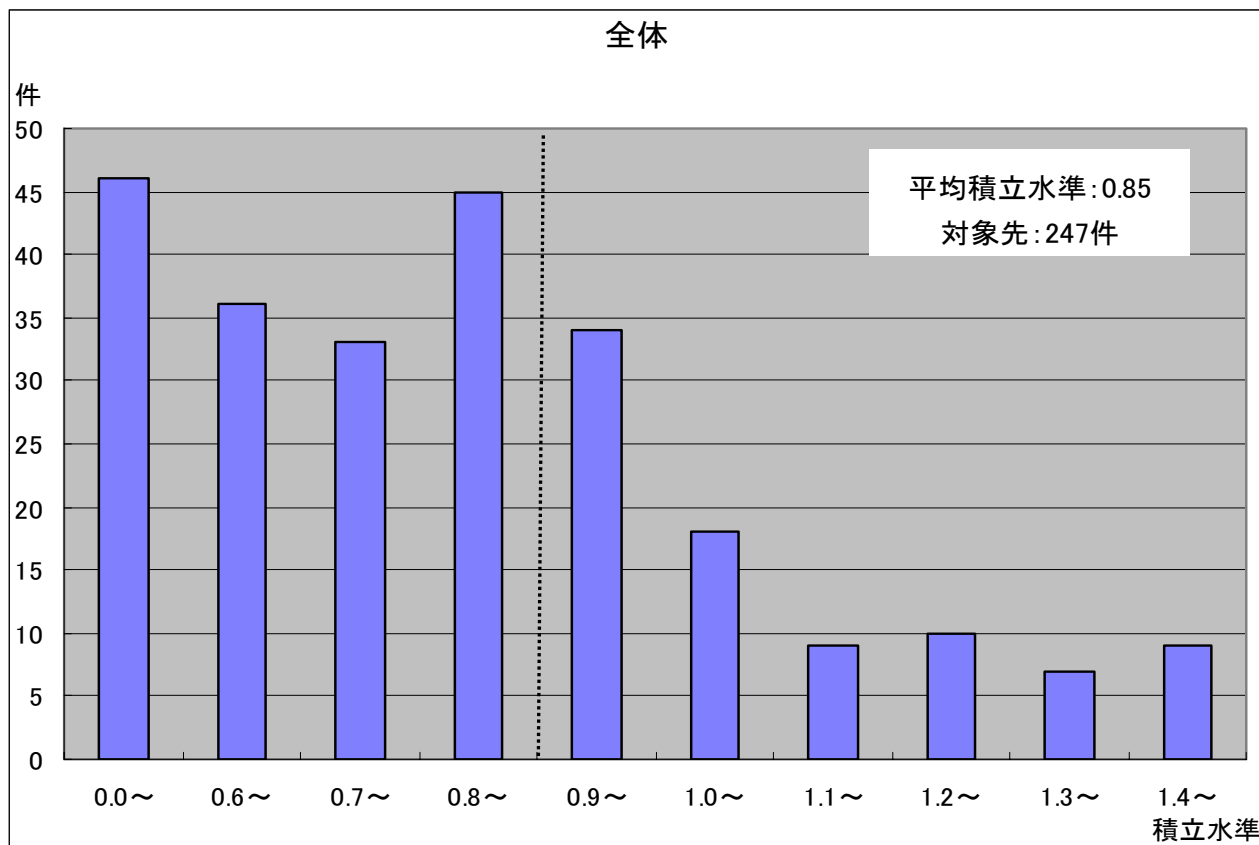
比率の計算式:
 $(標準掛金 + 新特別掛金A) / (標準掛金 + 特別掛金)$
 新特別掛金A:
 先発債務を含めた積立不足(H21.3期)を20年で償却した場合の特別掛金額

比率の計算式:
 $(標準掛金 + 新特別掛金B) / (標準掛金 + 特別掛金)$
 新特別掛金B:
 $\{先発債務を含めた積立不足(H21.3期) - 許容繰越不足金\}$ を20年で償却した場合の特別掛金額

・先発債務も含めた積立不足を20年で償却した場合の特別掛金額を算出しています。したがって、比率が1.0未満の基金は不足金が発生した場合でも、償却期間の延長により現行掛金額の範囲内での設定が可能と推測されます。

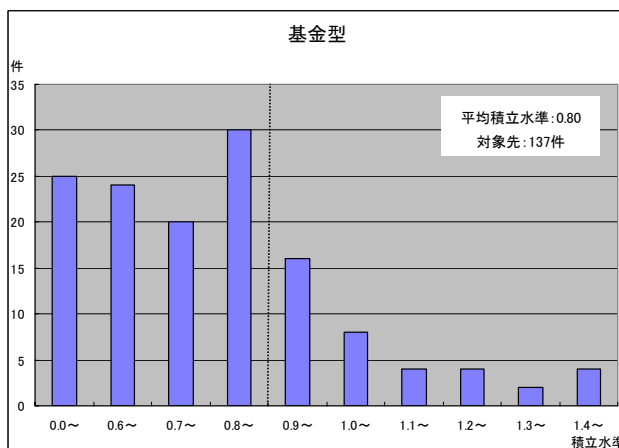
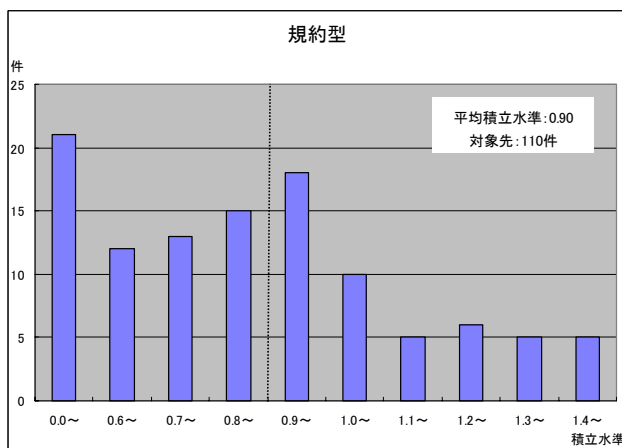


③ 非継続基準の積立水準分布

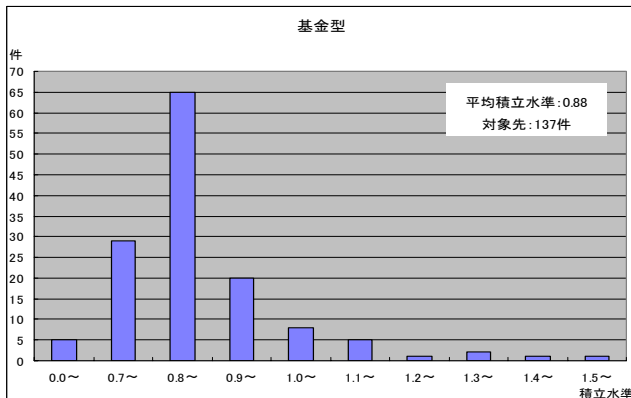
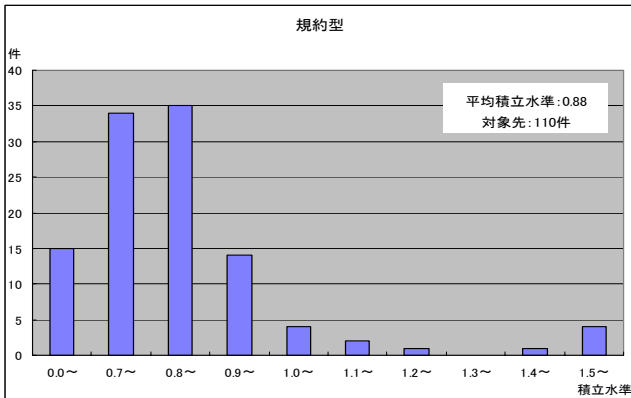
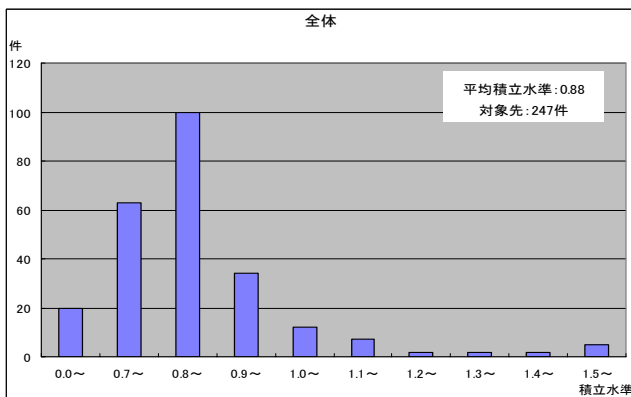


非継続基準の積立水準 = 純資産額 ÷ 最低積立基準額

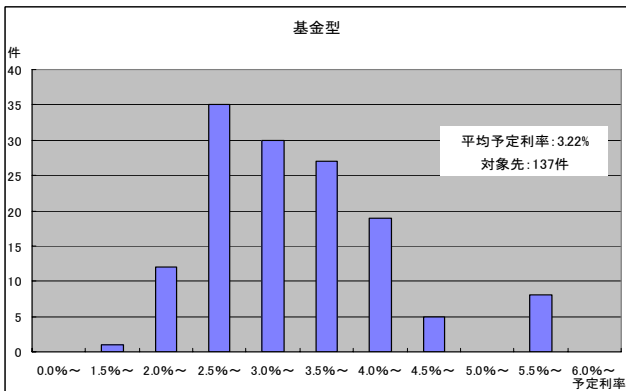
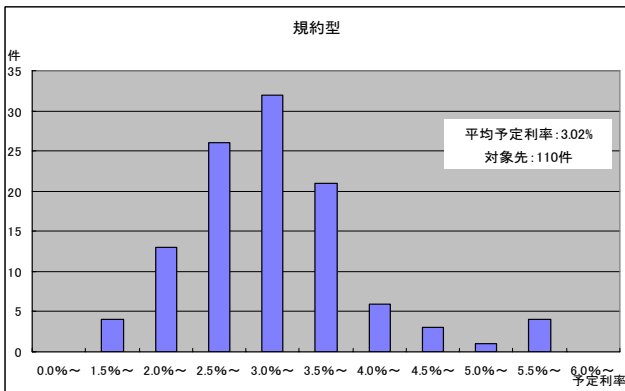
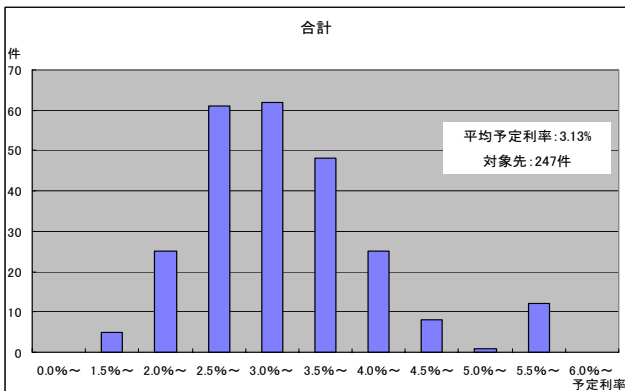
- ・0.9(平成24年4月1日以降は1.0)未満の場合は抵触。
- ・ただし、0.8(同0.9)以上であって、当該事業年度の前年度以前の3事業年度のうち少なくとも2事業年度において0.9(同1.0)以上である場合は抵触しない。
- ・抵触した場合は、「積立金の積立てに必要となる額」を拠出する必要がある。(現行掛金が当該掛金を上回る場合は追加拠出の必要はない)



④ 数理上資産額／責任準備金額



⑤ 継続基準の予定利率



⑥ 非継続基準の予定利率

	2.27%	2.724%	その他	合計
基金型	87	49	1	137
規約型	101	7	2	110
合計	188	56	3	247

⑦ 積立水準状況分布表

全体		件数(割合)	
継続基準	充足	抵触	合計
非継続基準			
充足	60 (24.3%)	60 (24.3%)	120 (48.6%)
抵触	31 (12.6%)	96 (38.9%)	127 (51.4%)
合計	91 (36.8%)	156 (63.2%)	247 (100.0%)

規約型		件数(割合)	
継続基準	充足	抵触	合計
非継続基準			
充足	28 (25.5%)	29 (26.4%)	57 (51.8%)
抵触	10 (9.1%)	43 (39.1%)	53 (48.2%)
合計	38 (34.5%)	72 (65.5%)	110 (100.0%)

基金型		件数(割合)	
継続基準	充足	抵触	合計
非継続基準			
充足	32 (23.4%)	31 (22.6%)	63 (46.0%)
抵触	21 (15.3%)	53 (38.7%)	74 (54.0%)
合計	53 (38.7%)	84 (61.3%)	137 (100.0%)

⑧ 許容繰越不足金の定義

	件数			合計
	A	B	C	
基金型	58	78	1	137
規約型	36	73	1	110
合計	94	151	2	247

- A: 標準掛金収入現価に一定率を乗じる方法
 B: 責任準備金に一定率を乗じる方法
 C: 「A」または「B」のいずれか低い額とする方法

⑨ 資産評価方法

時価	242
時価移動平均	0
収益差平滑化	5
評価損益平滑化	0
時価移動(低価法)	0
収益差(低価法)	0
評価損益(低価法)	0
合計	247

以上